

くらしの10年ロードマップ^o (概要)

令和6年2月 デコ活応援団 (新国民運動・官民連携協議会)

初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋** (課題と仕掛け) を **全領域** (衣食住・職・移動・買物) で明らかにし、**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進

国民にとっての**ボトルネック**

意欲

- 導入メリット・意義が不明
- 昔のイメージのまま敬遠
- 手間・難しさの忌避感
- 問題への理解・関心不足

実践

- 初期費用・大規模支出
- 導入に時間がかかる
- 機会・情報が限定・不十分
- 慣習・制度が実践を妨げ

課題解消に向けた**仕掛け** (主な対策)

	2024~2026	2027~2029	2030~
導入メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達 (商業・公共施設等を体験・体感の場に)			
新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化			住
商品・ブランド別のエシカル度の見える化			衣
サステナブルツアー (出張・旅行 等)、カーボンオフセット付き旅行保険等			移
科学的情報等を行動とセットで提供 (DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け)			基盤
サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大			
公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大			住
通常リフォームに合わせた+aの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案			住
リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大			衣
フードシェアリング、フードドライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大			買・食
テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供			職
データ活用した行動見える化、デマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大			基盤
費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供			基盤

行動制約

行動変容・ライフスタイル転換

ロードマップのスコープ (暮らし全領域を大きく7分野に)

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

- 1 住[外] 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電等)
- 2 住[内] エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水等)
- 3 衣 クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践
- 4 買・食 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別
- 5 職 テレワークの実践
- 6 移 電動車の購入 環境負荷がより少ない移動手段の選択
- 7 基盤 情報 (教育・ナッジ) インセンティブ

太陽光発電
年5.3万円 DOWN
災害時にも使える

高効率給湯器
年3.5万円 DOWN

住宅の断熱化
(窓・屋根・壁・床)
年9.4万円 DOWN
ヒートショック防止

はかり売り・自動決済
年3時間 UP
好きなものを好きなだけ

LED照明
年3千円 DOWN
年0.4時間 UP

省エネ家電
(冷蔵庫・エアコン・HEMS)
年2.8万円 DOWN

テレワーク
年6.1万円 DOWN
年275時間 UP

クールビズ・ウォームビズ
年4千円 DOWN

地産地消・食べきり
年9千円 DOWN

節水
(キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ)
年1.6万円 DOWN

ごみの削減・分別
年4千円 DOWN

サステナブルファッション

公共交通・自転車・徒歩
年1.2万円 DOWN

電動車
年7.5万円 DOWN
自動運転で年323時間 UP
給油不要なら年2時間 UP

凡例：トロフィーガイド
↑ 機会がある方は
↓ みんなで

毎月3万6千円浮きます (年43万円) 一日プラス1時間以上を好きなことに (年388時間)